

研究成果物等活用状況調査報告

■ 平成30年度 研究成果物等活用状況調査について

神奈川県立総合教育センターでは、今日的な教育課題について、学校現場で生きる実践的な調査・研究を実施し、研究成果物等として冊子・Webページの形で県内の学校に配付し、普及を図っています。

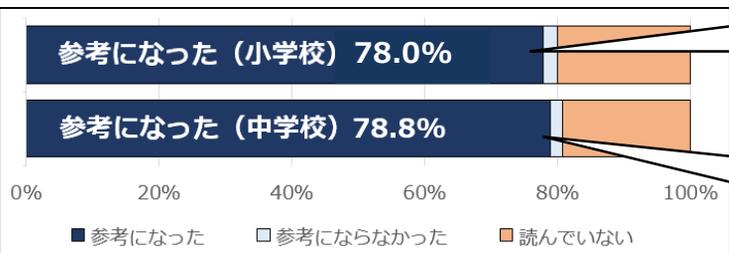
ここでは、県内の小、中、高、特別支援学校に御協力いただいて実施した、各校での活用状況についての調査結果をまとめました。今後の研究成果物等の活用につなげていただければと思います。

■ 研究成果物等の活用状況

※ 回答が皆無の場合はグラフ内に項目を表示していません。

教育のユニバーサルデザイン～小中一貫教育(小中連携)の視点から～

いただいたコメントより



Q&A形式でポイントを押さえて書いてある点がとても読みやすかった。また、具体的な例が書かれており、すぐに使えるものとしても良かった。

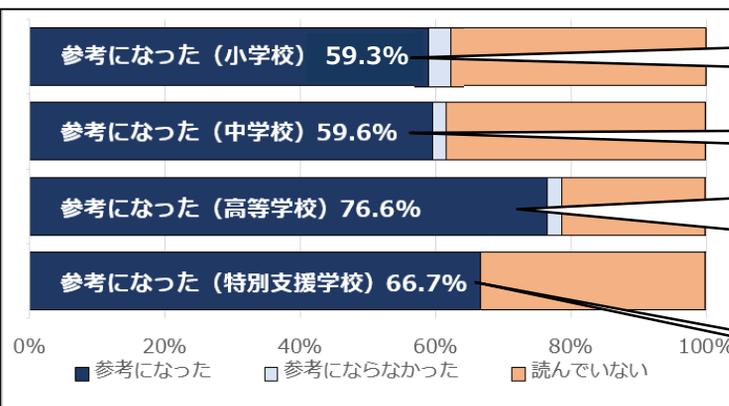
これまでうまく進まなかった取組を解決するヒントとなる考え方や具体的な手法が記載され、ユニバーサルデザインを実践する意欲を高められた。

<高等学校>育成すべき資質・能力を育む学びの在り方に関する研究 授業実践事例集



授業づくり、授業研究を行うにあたり、参考になった。

「学校と地域の連携・協働の在り方に関するアンケート」調査結果報告



取組の成果や今後やってみたいことを具体的に提示してあり、大変ためになった。

地域へのアプローチの仕方が参考になった。

コミュニティ・スクールの導入検討時に、職員への啓発資料として役に立った。コミュニティ・スクールに関する誤解を払拭し、積極的に取り組めるようにするための職員の意識改革に役立った。

研修講師をする際、資料作成の参考とした。



カリキュラム・マネジメントで改善・充実の好循環へ チーム学校が、パワーになる！



カリキュラム・マネジメントについて理解を深めその取組を促進するために、全体像から取組のポイントが視覚的に整理されている点が良い。

子ども一人ひとりの成長を支える特別支援学校新担当教員サポートブック（平成30年度版）



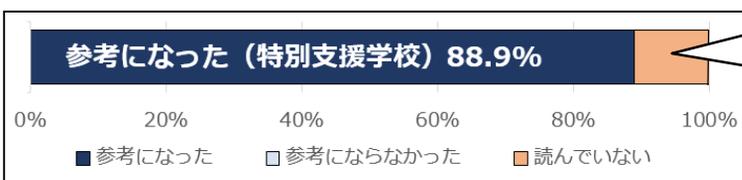
新任として、特別支援学校の教育への理解と授業づくりについて学ぶことができた。

高等学校初任者のための授業づくりガイド 平成30年度版



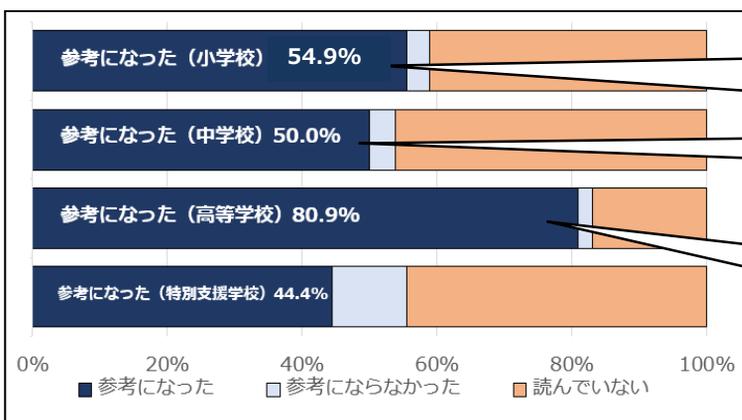
タイトルには「初任者のための」とあるが、県立高校・中等教育学校における授業改善の推進に向けて、初任者に限らず全ての教員にとって参考となる内容であると思う。

支援を必要とする児童・生徒の教育のために（平成30年3月版）



インクルーシブ教育推進のための今後の取組などが掲載されていただけでなく、専門用語についてもやさしい解説が載っていたので、初めて特別支援教育について学ぶ人に分かりやすい内容となっていた。

■平成29年度 研究集録 第37集の活用状況



どのような方向性を持って、日々の教育活動に向き合っていくことが望ましいのか、広く読むことによって、知るようになっている。

毎年発行される研究集録は、その時々に着目すべきことが示され参考になる。

教科指導の新たなアプローチが数多く収録されており、組織的な授業改善を進める上で非常に参考となるものである。

いただいた御意見を参考に、総合教育センターでは、今後も、授業改善、人材育成、児童・生徒理解、支援教育など、学校のニーズに合わせた研究成果の発信に努め、「かながわの学び」を支援してまいります。

